

《 介護サービス 》

1) 新しい生活様式を遵守し、感染拡大させない。

- ・感染症対策に関して常にアンテナを張り、情報を共有し対応する。
 - ◆1階(そよかぜ) 感染時
- ・ガウンテクニックを何度も指導してもらい、職員同士で確認を行った。
- ・情報、利用者(感染者)の状態を共有する為に、ボードに記入し統一した対応を行った。
- ・11/18 1名感染したが、迅速な対応で拡大防止出来た。
 - ◆1階(ふるさと)
- ・村内、職員の周囲で感染発症があった時には、勤務交代をする等必要に応じて対応した。
- ・消毒、マスクの正しい着用の仕方については、指導看護師の指示の元実施した。
- ・感染拡大があった時には、毎日ミーティングを行い、必要な体制を作り利用者対応に望んだ。(感染時)
 - ◆2階
- ・感染者が出た時点での話し合いが遅かった。
- ・環境の維持、管理を行い接触頻度の高い物の消毒を徹底する。
 - ◆看護より、園内放送で換気を促し1日3回の換気、常に空気洗浄機を使用した。
 - ◆毎日、トイレ・居室・手すり・車いす・テーブル等の消毒を行った。
- ・利用済みリネン類の適切な処置を行う。
 - ◆週1回・汚染時にはシーツ交換し、交換したシーツ等は指定のリネン庫で保管しクリーニングに出した。(汚染時は洗濯実施)
- ・感染者が出た場合の対応マニュアルを把握する。
 - ◆対応マニュアルの再度見直し・確認を行った。
- ・適切な利用者の配置(感染者の隔離等)
 - ◆感染発症した場合、拡大防止の為に居室・ゾーン対応を行った。
 - ◆短期利用者からの感染持ち込みを避ける為、入所5日間は居室対応する事や、入所時の抗原検査も行った。
 - ◆ゾーン対応時、ゾーン内の居室に移動するが、廊下に出られたり、物品等の物色があり感染拡大の危険性がある為に3名の利用者においては、緊急やむを得ない身体拘束に関する手続きを行い、記録に残し対応した。

2) 不適切介護への知識を高め、職員の質の向上を目指す。

- ・身体拘束となる具体的な行為を確認し、拘束しない工夫(代替え)をする。
 - ◆ベットから降りようとする利用者に対しての対応は、グループ内で話し合いケガを予防でき、本人の生活しやすい環境を整えた。
 - ◆不適切介護に繋がるのかという心配事がある場合は、各会議等の中で相談して解決に繋げる事が出来た。
- ・利用者の行動の意味を考え、原因の究明・解決にあたる。
 - ◆急に立ち上がったたり、歩行する利用者に対しては行動の目的を聞き対応する事で安心してもらえた。
 - ◆何をどうしたいのか考え本人に尋ねる事もあるが、それでもわからない時は、職員で話し

合い解決している。それが利用者の希望や訴え等に対して正解なのかわからない時もあった。

・言葉による虐待、心理的虐待(脅し、侮辱、威圧的な態度、無視等)を常に意識し、虐待をしないさせない環境をつくる。

◆日頃から利用者との信頼関係を持っている事や、利用者の前だけでも挨拶や笑顔が多くあると良いのではないかと思う場面も時々みられた。

◆不適切と思われる言葉遣いや利用者対応を見聞きした時に、お互いに注意したり、言い換えの言葉をアドバイスする様に心掛けた。

◆注意や指導というと職員間もぎくしゃくする事もあるので、コミュニケーションを取りながら感情的にならない様に言い方にも気をつけた。

◆職員に余裕がないように感じた時は、勤務形態に関係なく助けあった。

・オンライン研修を受講し、新しい知識と情報を共有しながらスキルアップにつなげる。

◆メディパス研修は業務の一環として、自分・利用者対応の為に勉強となった。

◆研修が終わっていない職員に対し、受講できたかの言葉かけして確認を行った。

3) 生き生きと過ごし、働ける環境をつくる。

・外出頻度が減っている為、個々の園外散歩等を計画し支援する。

・気分転換できるよう、時には園外に出て食事やおやつが摂れるよう支援する。

◆コロナ禍もあり思う様にはできなかったが、感染緩和時期にフロアで茶話会をする程度だった。

◆園芸活動にて野菜の収穫や水やり・苗物の成長を観察する事で気分転換を図れた。

・面会規制が続いている為、電話対応や写真送付をする等し、家族と利用者お互いの不安を軽減できるよう支援する。

◆家に電話してもらいたいとの訴え時には、その都度家族に電話を入れ不安軽減出来た。

◆荷物が届いた時や必要があるがある時には、家族にその都度連絡を入れた。

◆面会はガラス越しではあったが、端末を利用して家族の声を聞いたり顔も見たりでき喜んでもらった。

◆プランに沿い園での様子を写真に撮り、家族へ宛てた文書等と一緒に送る事が出来た。

・言葉の使い方には気をつけ、お互いが気持ち良く過ごせる環境を作る。

◆強い口調になる職員もいたが、周りでフォローしあえた。

@資格取得

介護福祉士 5名受験(全員合格 内1名退職)

介護支援専門員 (受験なし)

【事故報告について】 34件

・転倒6件(夜間4件・受診1件:異常なし) ・座り込み4件

・転落6件(1件受診:様子観察)

・皮膚剥離6件(1件回診)、ステリテープ、ガーゼ、コンネット等処置

・器物破損3件 ・荷物の持たせ忘れ(短期者)4件 ・その他5件

【 看護 】

1) 感染症対策に努める。

- ・基本的感染症防止策を徹底する(マスク使用・手洗い・消毒・換気)。
 - ◆マスク着用が出来ていない職員がいたので、その都度注意を行った。
(鼻が出ている・顎マスク・マスクをずらして話す)
 - ◆手洗い、消毒、換気に関しては実施出来ていた。
- ・職員が感染源とならないようにする(早めの報告・相談・対応)。
 - ◆職員個々において、手洗い・消毒・検温・抗原検査等の徹底を行い意識付けは出来ていたが、結果感染源となってしまった。
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスに関しての予防対策を周知する。
 - ◆コロナウイルスのマニュアル作成し周知した。インフルエンザ・ノロウイルスに関しては、新たにマニュアルを作成した。
- ・感染症が確認された場合、職員に対して統一した対応を行う。
 - ◆コロナ発生時には、問題発生の度に話し合いを行い、改善策を考え対応した。
- ・医療機関・施設との連携を密にする。
 - ◆国保病院院長の指示・指導のもと、利用者の状態悪化を防ぐ事が出来た。

2) 利用者の健康管理に努める。

- ・日々の健康管理、環境整備を行い、利用者がその人らしく生活できるように援助する。
- ・異常の早期発見、早期対応、速やかな受診を行う。
 - ◆検温・血圧測定等での体調の変化の気づきや、介護職員の気づきと報告により日中の受診で対応出来た。その為、夜間帯に緊急受診する事はなかった。
- ・定期健康診断、各種検査を行い、医療との連携により適切な看護、医療へとつなげていく。
 - ◆年度の始まりに利用者の健康診断実施。毎月の受診で必要な検査を行い、状態に応じた対応をする事で悪化する事はなかった。

3) 機能訓練への取り組み。

- ・利用者の残存機能を活かし、その人らしい生活が送れるように支援していく。
 - ◆コロナ感染が広がり、思う様にリハビリをする事ができなかった。
- ・利用者の健康維持を保ち、グループ体操、個別訓練を利用者の状態に合わせた個別機能訓練計画書に基づいて実施する。
 - ◆利用者の身体のニーズに沿った計画を立て実施出来た。
- ・口腔機能改善を歯科医や歯科衛生士と連携を行い、利用者が口から食べる喜びを維持するために適切な支援を行っていく。
 - ◆毎月の往診時や受診時に相談し口腔指導を受け、口腔ケアを確実に実施出来た。

【令和4年度 コロナ感染状況】

@7/25～ 職員9名 2階利用者9名発症 8/15収束

@11/1～ 職員9名 2階利用者(行動活発な方含む)18名
1階利用者1名 11/28収束

@1/3～ 職員8名 1階利用者10名(内1名死亡) 1/24収束

【令和4年度 インフルエンザ感染状況】

@1/5～ 職員3名発症

【調理・栄養士】

1) 禁止食材等の確認を確実に行う。

・アレルギー等の禁止食材と嫌いな食材の確認を行い、嫌いな食材の調理を工夫する。

◆白板に「禁止」と「嫌い」を書き分ける事で職員がわかるようにし、禁止食材の提供を防ぐ事が出来た。

◆献立を作る工程で、嫌いな食材の切り方を工夫し他の食材と混ぜて提供したが、摂取してもらえた。

・調味料や加工食品の内容を確認して使用する。

◆アレルギーのある方を含めて、調味料や既製品の表示確認をするなどの注意を払った。

・食札の禁止表示を見落とさない。

◆食札への記入でも確認出来るが、事前に食器に付箋を付ける事で二重チェックが出来た。

2) 食べる楽しみから来る笑顔のある暮らし。

・季節の食材を取り入れ「食べやすく、美味しい」食事提供を目指す。

◆季節に合わせて旬の食材を提供する事が出来た。

◆ゼリー食や刻み食の方が食べやすい様にとろみ剤(スルーパートナー)の調整を行った。数名の汁を飲まれない方には、とろみ剤(ソフティアG)を使用する事で摂取出来た。

・嗜好調査を基に献立を取り入れる。

◆調査にて「丼物」・「鮭」・「鰻」・「果物」・「羊羹」の人气がよく献立に取り入れた。

◆果物は手数がいる為バナナや缶詰が多かった。

・毎月のバイキング食で好みの料理を選んでいただく。

◆数枚の大皿に色取りよく盛り付けて、職員が一人一人に声をかけて自分で選んで食べてもらう事が出来た。特に握り寿司のバイキングでは、小食の方もおかわりをして食べられた。

・色彩を考え、見た目からも食欲がわくような盛り付けと料理の提供。

◆付け合わせを加える事で、色合いをよくする事が出来た。

◆誕生会・バイキングにおいて、見た目も楽しんでもらえるような食材選びを行った。

3) 各部署と連携し、体調維持をサポートする。

・利用者個々の食事摂取状況の把握。

・食事摂取量が低下している方の補助食品の検討。

◆看護より報告を受け、食欲低下の方の食事量の調整とカロリー維持の補助食品の提供を行った。

・自助具等の検討。

◆食べこぼしの多い方や、筋力低下の方の自助具やスプーンについても、その時の状態に合わせて提供出来た。

【 事務管理 】

- ・各部署とのコミュニケーションを図り、情報を共有し正確な発信を行う。
- ・利用者、ご家族からの要望や問い合わせにも円滑な対応を行えるよう取り組む。
 - ◆コロナ禍で面会も制限された中、利用者・ご家族からの連絡事項や要望等は、部署間で情報を共有し円滑な対応をする事が出来た。
- ・購入物品においては広く情報を収集し、経費削減に努める。
 - ◆消耗品等の購入は、必要に応じての発注を見当し在庫過多をなくすことで経費節減に努めた。

【 相談員 】

- ・感染症関連する動向や情報に注視するとともに、ご家族や外部との情報を共有し対応する。
 - ◆居宅ケアマネ、ご家族、職員からの情報を収集し、施設内にて情報を共有し対応出来たが、職員が感染源となり結果、コロナ感染の拡大に繋がった。
- ・コロナ禍の中、ご家族や地域とのふれあいの場を提供する事が難しい状況のため、毎月発行の「平寿園だより」にて利用者の生活される様子を知っていただく。
 - ◆毎月発行の園便りの内容に、利用者の写真を載せて活動内容を見て頂き園での様子を知ってもらう事が出来た。
- ・利用者、職員とのコミュニケーションを密にし、要望やニーズを汲みとり安心して相談できる環境づくりを行う。
 - ◆会話の場を多く持ち会話しやすい雰囲気作りに心がけたが、コロナ発症時には職員間にも心の余裕が持てない時もあり、ぎくしゃくする事があった。
- ・外部からの苦情・問い合わせに対しては情報を収集し、迅速かつ適切に対応する。
 - ◆意見・要望) 1件
 - 1) 短期入所中の様子を記した日誌の写しをケアマネから受け取った家族より、
「ご飯と汁物を混ぜ、そこに唾を吐く様子がある」という内容の記録があり
もし第三者がこの表現を目にすれば誤解や偏見を招くと思われる
普段はティッシュペーパーで取り出している
@職員は目にした状況を書いたと思われるが、誤解を招きかねない表現であったことをお詫びする
 - ◆苦情) 2件
 - 1) 97歳 男性利用者より 園長に話があると言う
ベルを鳴らしても対応してくれない、ほったらかしにされている
@必ず職員に伝える事をその場で返答する
 - 3) 91歳 女性利用者 コロナ感染施設内療養中に死亡された娘様より(神奈川県)
コロナに罹った母に家族の同意なしに治療薬を飲ませた経緯が知りたい
@発症日、主治医より抗ウイルス薬ラゲブリオの処方あり施設長代諾で服用
当日内服薬処方とご家族へは説明している(遠方の為書類の送付に時間が必要)
@ワクチン接種については、ご家族が希望されていないという事は記載もあり承知していたが、薬については確認出来る記録がない
* 今後は、他の利用者も入所時に治療・服薬・延命治療等についての意向確認を行う

- 苦情・問い合わせの対処等の内容は相談記録に残した。
- ◆ご家族にも迅速かつ丁寧な対応(説明・お詫び)を行い納得してもらう事ができた。
 - ◆各部署間において、職員への聞き取りを行い今後の対応を確認した。
 - ・職員によりよい就業環境を整える為、随時業務内容の改善を行う。
 - ◆職員の急な休みにおいては、他部署等の協力もあり迅速に勤務に取り入れ調整する事ができた。

生活困窮者等に対する相談支援事業

「みやざき安心セーフネット事業」への取り組み

村社会福祉協議会より連絡を受けて協議を行い、村社会福祉協議会・北部福祉こどもセンター等と連携し2件の支援を行った。

- ・令和4年 3/30 ~6/30 女性
- ・令和4年 7/25 ~9/ 2 男性

【 令和4年度 外部研修 】

期日	名称	会場	内容	出席者
5/12	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・介護過程の基礎知識と応用	三浦長弘
5/12	皮膚乾燥のメカニズムと予防・真菌感染について	平寿園 (オンライン)	・スキンケアの基本 ・尿失禁、便の管理について	黒木優子
5/17	認知症介護基礎研修	平寿園 (講義動画)	・認知症を取り巻く現状 第一章～第四章	椎葉浪子
5/19	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・アセスメントから介護計画書作成 ・グループワーク ロールプレイ	三浦長弘
5/26	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・介護過程のアセスメント表作成 ・グループワーク ロールプレイ	三浦長弘
6/ 8 ～9	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・喀痰吸引の基礎的知識と実技手順の確認 ・経管栄養の基礎的知識と実技手順の確認 演習・	三浦長弘
6/ 9	福祉用具展示 ・体験・相談会	日向市	・パワークッション 排泄予測支援 機器 白十字	副園長 他5名
6/23	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・アセスメントを用いての計画書作成 ・マニュアル作成	三浦長弘
7/ 1	栄養士研修	平寿園 (オンライン)	・食品構成表および献立変更の実 際と工夫 他	那須ともみ
7/ 4 ～5	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・ケアマネジメントのプロセスについて ・事例発表	椎葉幸子
7/ 7	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・個別マニュアル作成 ・実技テスト	三浦長弘
7/14	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・筆記テスト	三浦長弘
7/14	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・介護保険制度及び地域包括ケア システムの現状について 他	椎葉幸子
7/14	社会保険被保険	延岡市	・営業許可申請・営業届け	黒木武人

	者に関する調査		・社会保険適用拡大に関する説明	
7/27	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・ケアマネジメントの実践における論理について	椎葉幸子
8/9	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・医療との連携や病気の知識 ・ケアマネジメント演習	椎葉幸子
8/17	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に対する事例	椎葉幸子
8/18	予防的スキンケア第2弾	平寿園 (オンライン)	・スキンテア(皮膚裂傷)予防と注意点	富士本美枝子
8/22	安全対策担当者養成研修	平寿園 (オンライン)	・制度説明と目的 ・介護事故の実態と対応 他	谷川恵子 椎葉理恵
8/31	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・認知症に関する事例 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	椎葉幸子
9/8	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・家族への支援に関する知識 ・個人ワーク グループワーク	椎葉幸子
9/16	安全対策担当者養成研修	平寿園 (オンライン)	・制度説明と目的 ・介護事故の実態と対応 他	椎葉エミ子 那須寿美代
10/5 ~6	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 グループ討議他	甲斐桂子 椎葉幸子
10/5 ~6	キャリアパス対応生涯研修	平寿園 (オンライン)	・グループ討議	松尾由利子
10/18	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 他	甲斐桂子 椎葉幸子
11/4	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・認知症に関する事例 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	甲斐桂子
11/10	介護支援専門員更新研修	平寿園 (オンライン)	・家族への支援の視点が必要な事例	甲斐桂子 椎葉幸子
11/16 ~17	キャリアパス対応生涯研修	宮崎市	・福祉サービスの基本理念 ・対人援助と信頼関係構築 他	黒木由紀 井手天音

12/28	介護保険事業に対する集団指導	平寿園 (オンライン)	・感染症予防について ・働きやすい職場環境と労務管理 他	甲斐桂子 甲斐美千代
1/29	介護福祉士国家試験	宮崎市 熊本県	・筆記試験 ・筆記試験	井)久美 りか 竜児 誠志 甲斐英樹
3/2	厨房内見学	西郷村	・職員不足に対応した食品提供の調理方法	那須ともみ
3/10	特養施設長会議	日向市	・情報交換 感染症対策 職員不足 他	黒木武人
3/21	認知症介護基礎研修	平寿園 (講義動画)	・認知症を取り巻く現状 第一章～第四章	尾前真理子
3/22	"	"	"	甲斐隆志
3/23	"	"	"	椎葉ロクサン
3/24	"	"	"	椎葉千春
3/27	"	"	"	熊谷真理
3/28	"	"	"	椎葉里沙
3/29	"	"	"	井手天音
3/30	"	"	"	椎葉レイ子

園内研修

期日	内 容	職員
	* 4月 コロナ感染関係にて時間短縮の為中止	
5/26	事務所企画 「介護保険について」 メディアパス動画視聴 介護サービス費実績説明	園長 他34名
6/23	伝達研修 皮膚乾燥のメカニズムと予防・真菌感染について 他	園長 他31名
	* 7月・8月 コロナ感染関係にて中止	
	* 9月 台風14号にて道路復旧が不十分の為中止	

10/26	伝達研修 安全対策担当者養成研修 予防的スキンケア第2弾 他	園長 他25名
	* 11月 コロナ感染関係にて中止 * 12月・1月 コロナ感染拡大防止と降雪で悪路の為中止	
2/23	伝達研修 キャリアパス対応生涯研修 看護 嘔吐物処理方法について(実演)	園長 他29名
3/27	2階グループ企画 「不適切介護について」 不適切なケアが起こる要因 不適切な言葉遣い 他	園長 他30名

【 グループ研修(勉強会) 】

【介護】		
5/10	・移乗の仕方について 車いす・ベット間の移乗方法を実践 スライドボード移乗についての説明	介主 新人職員 計7名
7/25	・ガウンテクニックの着脱手順実演	看護 介護 計6名
7/28	〃	看護 介護 計7名
7/29	〃	看護 介護 計7名
8/4	〃	看護 介護 計6名
8/16	〃	看護 介護 計11名
11/1	〃	看護 介護 計8名
11/7	〃	看護 介護 計9名
11/16	〃	看護 介護 計12名
11/28	〃	看護 事務所 計6名
1/5	〃	看護 介護 計7名
1/10	〃	看護 介護 計8名
1/13	〃	看護 介護 計6名
【調理】		
4/12	・カンピロバクター食中毒について	栄養士、調理員 計7名
5/8	・梅雨時期の体調管理について	計6名
6/12	・病原性大腸菌について	計6名
7/8	・ガス漏れ警報器の解除手順について	計6名
8/10	・サルモネラ菌について	計7名
9/13	・食についての感染症について	計6名
10/9	・ノロウイルス食中毒について	計6名
11/13	・免疫を高める食品と食事の摂り方	計7名
12/11	・寄生虫による食中毒(アニサキス)について	計7名
1/8	・感染者発症時の準備と手順について	計5名
2/12	・黄色ブドウ球菌食中毒について	計5名
3/12	・イレウスについて	計6名

企画委員会	期 日	内 容	出席者
	4/15	・5月行事予定について ・新型コロナウイルス感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	5/16	・6月行事予定について ・家族会総会について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	6/8 (臨時)	・新型コロナウイルス感染症対策について ・インカム導入について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8名
	6/14	・7月の行事予定について ・身体拘束に関する研修義務化 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	7/13	・8月行事予定について ・事業継続計画について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	8/10 (臨時)	・陽性者療養解除後の対応について ・感染対策について ・職員のメンタル対策について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 7名
	8/17	・コロナウイルス感染症関係にて書面のみ	
	9/12	・10月の行事予定について ・ストレスチェック実施について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8名
	9/21 (臨時)	・新型コロナウイルス感染症対策について ・台風災害対応について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	9/28 (臨時)	・新型コロナウイルス感染症対策について ・台風災害について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8名
	10/7 (臨時)	・新型コロナウイルス感染症対策について 見直し ・特別休暇について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8名
	10/17	・11月の行事予定について	園長 副園長

		・経費の節約について	相談員 各部署主任 計 9名
	11/16	・12月の行事予定について ・新型コロナ感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	12/15	・1月行事予定について ・勤務体制、事業継続について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	1/16	・2月の行事予定について ・新型コロナ感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	2/15	・3月の行事予定について ・給与規程改正の検討(法人全体) 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	3/16	・4月の行事予定について ・職場環境について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
職員会議	期 日	内 容	出席者
	4/26 (時間短縮)	・感染症対策について ・物価上昇対策について 他	園長 他27名
	5/26	・感染症対策について ・事故防止について 他	園長 他34名
	6/23	・7月行事予定について ・経費節約 職員募集について 他 *7月・8月 コロナ感染症関係にて中止	園長 他31名
	9/27 (書面のみ)	・台風14号にて道路復旧不十分の為中止	
	10/26	・11月行事予定について ・社会保険料負担の仕組みについて 他 *11月 コロナ感染症関係にて中止 *12月・1月 コロナ感染拡大防止と降雪での悪路の為中止	園長 他26名
	2/23	・3月の行事予定について	園長 他29名

	3/27	・処遇改善加算等について 他 ・4月行事予定について ・収支悪化(赤字)について 他	園長 他30名
リーダー会議	12/7	・業務改善について 他	相談員 他7名
	12/15	・業務見直し 年休の見直し 他	園長 他6名
	12/22	・1, 2階職員配置 利用者移動について他	園長 他6名
	3/14	・業務改善後のメリット、デメリットについて	副園長 他5名
食中毒対策委員会	4/26	・カンピロバクター食中毒について	副園長 他8名
	6/23	・病原性大腸菌について	副園長 他10名
	8/24	・サルモネラについて (コロナ感染関係にて書面のみ)	
	10/26	・ノロウイルス食中毒について	相談員 他8名
	12/26	・寄生虫による食中毒について (コロナ感染関係にて書面のみ)	
感染症対策委員会	2/23	・黄色ブドウ菌食中毒について	副園長 他9名
	5/26	・爪白癬について	副園長 他7名
	7/26	・尿路感染症について (コロナ感染関係にて書面のみ)	
	9/27	・速乾性擦式手指アルコール消毒の有用性について(コロナ感染関係にて書面のみ)	
	11/24	・インフルエンザについて (コロナ感染関係にて書面のみ)	
	1/26	・多剤耐性菌について (コロナ感染関係にて書面のみ)	
保健衛生委員会	3/27	・感性的胃腸炎について	副園長 他7名
	5/26	・スキンケアについて	看護 介護17名
	2/23	・嘔吐物処理方法について	看護 介護 調理 事務 デイ 29名

事故防止対策委員会	4/15	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長	他	8名
	5/16	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長	他	8名
	6/14	・事故報告についての対策検討	事故5件	園長	他	8名
	7/13	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長	他	8名
	8/17	・事故報告についての対策検討 コロナ感染関係にて書面のみ	事故5件			
	9/12	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長	他	7名
	10/17	・事故報告についての対策検討	事故2件	園長	他	8名
	11/16	・事故報告についての対策検討	事故3件	園長	他	8名
	12/15	・事故報告についての対策検討	事故2件	園長	他	8名
	1/16	・事故報告についての対策検討	事故3件	園長	他	8名
	2/15	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長	他	8名
	3/16	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長	他	8名
身体拘束適正化委員会	7/14	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		副園長	他	7名
	10/11	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長	他	7名
	11/3	・身体拘束に関する協議(コロナ対応)		園長	他	5名
	11/5	・身体拘束に関する協議(コロナ対応)		園長	他	5名
	11/7	・身体拘束に関する協議(コロナ対応)		園長	他	5名
	12/15	身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長	他	7名
	3/14	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長	他	8名
身体拘束に関する職 員研修	8/24	・虐待、拘束について(コロナ感染関係で中止)				
	3/27	・不適切介護について		園長	他	30名
身体拘束に関する新 人研修	6/16	・メディパス動画視聴	福祉用具について他	副園長	他	6名
	6/20	・メディパス動画視聴	福祉用具について他	相談員	他	6名

	6/23	・メディアパス動画視聴 福祉用具について他	副園長 他5名
褥瘡対策委員会			
看護検討会	4/1	・感染症対策委員会について ・コロナワクチン接種について 他	(施)看護師3名

【入居者サービス担当者会】

期日	参加者(名)	期日	参加者(名)
4/15	7	10/7	5
4/18	6	10/21	7
4/25	8	10/27	7
5/10	6	11/10	各部署への照会とプラン修正
5/13	8	11/14	〃
5/16	7	11/16	〃
		11/21	〃
6/7	6		
6/13	5	12/8	4
6/28	7	12/16	3
		12/21	5
7/12	7		
7/14	6	1/11	各部署への照会とプラン修正
7/20	6	1/18	〃
7/25	各部署への照会とプラン修正	1/20	〃
8/18	各部署への照会とプラン修正	2/14	4
8/19	〃	2/17	5
8/22	〃	2/24	5
8/25	〃		
		3/13	5
9/8	6	3/20	5
9/14	各部署への照会とプラン修正	3/23	5
9/16	〃		
9/26	6		

令和4年度

【実習受け入れ】

月 日	内 容	人数
受け入れなし		

令和4年度 事業経過報告
行事・催し等 (園全体)

月 日	名称	内 容	備考
5/18	園芸活動 (あおぞら・ひだまり)	・施設花壇にて(野菜の苗植) カボチャ・トマト・胡瓜・茄子	利用者 5名 職員 3名
5/19	園芸活動 (1階)	・施設花壇にて(野菜の苗植) カボチャ・トマト・胡瓜・茄子	利用者 4名 職員 3名
6/10	梅ジュース作り (あおぞら・ひだまり)	・利用者に梅のへそをとってもらい 瓶に梅と氷砂糖を入れる	利用者 9名 職員 2名
6/19	父の日茶話会 (1階)	・ドリンクバーの飲み物、お菓子摂取 ・メッセージカードプレゼント	利用者 30名 職員 5名
12/25	合同クリスマス会 (あおぞら・ひだまり)	・おやつバイキング ・職員がサンタクロースに扮して プレゼントを渡す	利用者 38名 職員 6名
12/25	クリスマス会 (1階)	・お菓子バイキング ・職員がサンタクロース、トナカイ に扮してプレゼントを渡す	利用者 34名 職員 6名
1/ 1	茶話会 (あおぞら・ひだまり)	・新年の挨拶 ・新年の抱負披露	利用者 33名 職員 5名
1/ 2	書き初め (そよかぜ・ふるさと)	・自分の思う言葉を書いてもらう	利用者 6名 職員 3名
2/ 3	節分豆まき (そよかぜ・ふるさと)	・面をつけた職員にボーロ豆を投 げてもらい	利用者 24名 職員 6名

ボランティア

月 日	団 体 名	目的・内容
	、 *コロナ感染関係にて受け入れ なし	

令和4年度 防災訓練

期 日	名称	内容	参加者
4/6	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 16名
5/18		* 九電工の方より 自動火災報知器設備についての説明	職員 16名 九電工 4名
5/20	緊急時非常通報 連絡(1回目)	* 携帯LINEでの連絡 LINEに入っていない職員には部署内での連絡	職員 56名
6/8	夜間を想定した 避難訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施 7月・8月・9月 コロナ感染関係にて中止	職員 17名 利用者68名
9/20	緊急時非常通報 連絡(2回目)	* 携帯LINEでの連絡 LINEに入っていない職員には部署内での連絡	職員 51名
10/12	停電検査	* 災害時停電に備えての点検 11月 コロナ感染関係にて中止	職員 21名 九電工 3名
12/7	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法 1月 コロナ感染関係にて中止	職員 14名
2/22	昼間を想定した 避難訓練	* 厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 21名 利用者 56名
3/22	夜間を想定した 避難訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 18名 利用者58名

令和4年度 利用者状況

【入退所状況】

退所者

退所年月日	性別	年齢	備考
R4 6/30	男	90	在宅へ
7/17	男	85	死亡
7/27	女	94	死亡
8/4	女	96	死亡
8/5	女	89	死亡
8/25	男	92	死亡
8/28	女	98	死亡
9/13	女	99	死亡
9/18	女	84	死亡
10/10	女	98	死亡
10/13	男	86	死亡
11/5	男	98	死亡
11/30	女	95	死亡
12/9	女	96	死亡
R5 1/2	男	92	死亡
1/6	男	89	死亡
1/14	男	74	死亡
1/15	女	78	死亡
1/16	女	91	死亡
1/21	女	88	死亡
1/24	女	90	死亡
1/27	女	88	死亡
3/23	女	92	死亡

入所者

入所年月日	性別	備考
R4 4/15	男	在宅より
7/20	男	在宅より
7/22	女	在宅より
8/8	男	在宅より
8/26	女	在宅より
8/31	男	在宅より
9/5	女	在宅より
9/20	男	在宅より
9/20	男	在宅より
10/12	女	在宅より
10/28	女	他施設より
11/21	男	在宅より
12/15	女	在宅より
12/26	男	在宅より
R5 1/6	男	在宅より
1/30	男	在宅より
2/1	男	他施設より
3/28	女	他施設より

【性別年齢構成表】

令和5年 3月31日現在

年齢（歳）	80未満	80以上～ 90未満	90以上～ 100未満	100以上	合計
男性	6	8	12	0	26
女性	1	10	18	0	29
合計	7	18	30	0	55

【平均年齢】

男性	87.2歳
女性	90.7歳
全体	89.0歳

【要介護度別構成表】

令和5年 3月31日現在

要介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	1	7	14	4	26
女性	0	0	2	2	19	6	29
計	0	0	3	9	33	10	55

（ 平均要介護度 3.9 ）

【性別在所期間】

在所期間 性別	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上	計
男性	9	11	0	6	0	26
女性	8	9	4	7	1	29
合計	17	20	4	13	1	55

令和4年度入所実績

R4・4・1～R5・3・31

月	事業別のべ入所者数				
	施設入所 (60)	短期入所 (16)	予防短期	障がい短期	短期宿泊
4月	1733	407	0	0	0
5月	1783	398	0	0	0
6月	1707	379	6	0	0
7月	1776	445	15	0	0
8月	1721	257	4	0	0
9月	1671	251	25	17	0
10月	1792	295	18	0	0
11月	1590	188	29	0	0
12月	1767	236	0	0	0
1月	1652	91	0	0	0
2月	1449	171	8	0	0
3月	1579	234	0	0	0
計	20220	3352	105	17	0
平均利用者数	55.4人/日	平均利用者数 9.5人/日			
年間稼働率	92%	年間稼働率 59%			

令和4年度 デイサービスセンター事業報告

要介護者や障害のある方達の閉じこもりを防止し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援する

- 1、 **感染予防対策に努める。**
 - ・利用時ご本人様、ご家族様の体調確認を行う。
 - ・乗車前の検温・マスク着用の促しを行う。
 - ◆送迎時、家族を含めた体調確認、マスク着用の促し等が出来た。
 - ・送迎車輛、デイルーム内のこまめな換気を行う。
 - ◆車輛の換気は、窓を少し開けて送迎を行った。
 - ◆デイルーム内においても時間をみて換気を行った。
 - ・デイルーム到着時の手指の消毒の実施。
 - ・手すり、ドアノブ等のこまめな消毒の実施。
 - ◆担当を決めて毎日行う事が出来た。

- 2、 **個別ケアへの取り組み(難聴の方への対応)。**
 - ・難聴の状態(両耳・片方)をサマリーや、直接話相手をしながら確認する。
 - ・言葉賭けする際、声のトーンや速さに気をつけながら、耳元でゆっくり話しかける。
 - ◆初回利用時、状態の確認を行い、本人の状態に合わせた言葉かけや支援が出来た。
 - ◆個々の状態把握が出来たら、職員全員に周知した。
 - ・理解できない場合は、筆談やジェスチャーを交えて対応する。
 - ◆理解できない場合は、主にジェスチャーを交えて対応する事が出来た。
 - ・補聴器使用者の確認(入浴時外す・車への乗車時装着しているか等)
 - ◆入浴時の確認は出来たが、乗車時の装着の確認を忘れる事があった。

- 3、 **利用者ご家族との連携を深める。**
 - ・敬意を持った言葉遣いや、笑顔での挨拶を心がける。
 - ◆常に意識しながら対応が出来た。
 - ・家族からの申し送り事項は、他の職員にも伝え統一した支援を行う。
 - ◆自宅での様子等の申し送り事項は、職員全員で把握し統一した支援が出来た。
 - ・医療ケアが必要な場合は、専門医の受診を勧め、ケアマネージャーや医療機関と連携しながら支援する。
 - ◆入浴時や状態について、担当ケアマネよりの申し送りは職員で共有し確認できた。
受診が必要な場合は家族や担当ケアマネに報告する事で受診を勧めたり、連携した対応ができた。
 - ・利用者、ご家族の方が要望等を気軽に話せる雰囲気作りを行う
 - ◆マスクをしている為、表情等がわかりづらい部分もあったと思うが、送迎時を利用して話をするように心がけた。

【通所要介護度別利用実績】

令和4年4月～令和5年3月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護度													
要支援1	31	31	28	24	10	12	27	19	13	12	18	21	246
要支援2	22	21	36	30	16	24	44	35	34	36	43	49	390
	53	42	64	54	26	36	71	54	47	48	61	70	636

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護度													
要介護1	34	30	42	30	8	14	31	26	31	28	23	19	316
2	43	42	43	28	12	15	28	20	26	27	40	53	377
3	18	15	13	14	2	10	20	8	11	8	14	22	155
4	9	8	12	19	14	9	19	16	20	15	16	19	176
5	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
計	106	96	111	93	36	48	98	70	88	78	93	113	1030

通所介護年間稼働日 204日

予防通所介護一日平均利用者数 3.1人
 通所介護 一日平均利用者数 5.0人

要支援 1	1.2人
要支援 2	1.9人
要介護 1	1.5人
2	1.8人
3	0.8人
4	0.9人
5	0.03人

【いきがい活動支援通所事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用者数	78	68	78	68	21	38	64	51	46	39	55	60	666

(登録者) 45人 (1日平均利用者) 3.3人

【障害者デイサービス事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用	11	12	13	14	2	3	13	11	11	9	6	7	112

(登録者) 6人 (1日平均利用者) 0.5人

令和4年度 平寿園居宅介護支援事業 事業報告

実績について

- ・新規の受け入れも積極的に行ったが、特養への入所者や、亡くなる利用者も多く結果として前年度に比べると支援者の人数は減少した。
- ・要介護者が更新申請で要支援の認定を受ける利用者も多くなり、要支援者が増えた。

居宅介護支援について

- ・居宅介護支援は独居、生活保護等の困難事例があった。地域外への有料ホームへの入所調整はなかった。
- ・予防支援や総合事業の業務は順調に計画や支援等ができた。
- ・個別ケア会議への事例提出も要請に従って提出、検討する事ができた。
- ・地域ケア会議、情報交換会議へも毎回出席する事ができた。
- ・新型コロナウイルスの影響で、県外からの帰省や面会等が困難となり入院やサービス調整で時間を費やした。

その他

- ・必要に合わせて短期入所送迎を行った。
- ・ケアマネの退職により、担当利用者の引き継ぎを行った。

【居宅支援事業 令和4年度実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護1	11	9	9	9	7	7	9	8	7	8	6	6	96
介護2	12	12	10	8	8	8	9	8	10	8	12	10	115
介護3	12	11	10	10	9	7	6	5	5	6	7	8	96
介護4	9	8	10	10	9	8	6	6	6	7	6	6	91
介護5	6	5	4	4	3	2	1	0	0	0	0	1	26
要介護合計	50	45	43	41	36	32	31	27	28	29	31	31	424
予防 件数	12	11	13	17	13	18	20	20	20	20	20	21	205
件数合計	62	56	56	58	49	50	51	47	48	49	51	52	629